

# キヤマノアキヤ～1軒から始まるまちづくり・まちおこし～

## □概要

現在、佐賀県の基山町では多くの空き家問題に頭を悩ませている。これは空き家が多すぎる環境の悪化や景観の劣化問題につながってしまうからである。私はこの基山町の空き家の1軒を対象としたリノベーションを提案する。空き家単体のリノベーションではなく、基山町に住む人、基山町で働く人がこの1軒に関わることを基本として組み立てる。そのためのまちづくりを考えた。

## □目的

この提案の目的は、空き家を再生して町に雇用を生み出し基山町を活性化させることである。対象とする空き家は1軒だが、これを皮切りに空き家問題の解決が果たされ、基山町のまちづくりを成功に導きたい。

## □基山町とは

基山町は佐賀県東部の三養基郡に属する町。人口は約17,400人程度で面積は22.15km<sup>2</sup>である。地理的には20km～30km圏内に福岡市・佐賀市・久留米市などがあり、JR博多駅への移動時間も快速電車で25分程度でもあることから、これらのベッドタウンとなっている。

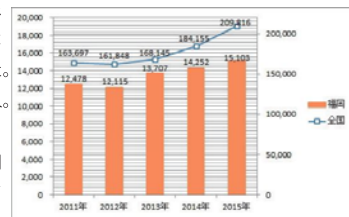


出典 <http://www.iist.or.jp/jp-m/2015/0243-0974/>  
 出典 <https://www.google.co.jp/maps/@33.4203718,130.5309731,18z>

今回リノベーションする物件

## □対象となる居住者

居住者を獲得するのに一番重要なのがターゲットである。福岡市や佐賀市のベッドタウンでもある場所なので大学生や会社員でも良いかもしれないが、それでは他のアパートやマンションと変わらない。そこで外国人の日本国内総数と福岡、佐賀での総数を調べてみた。現在外国人留学生は全国総数2,232,189人。福岡県総数は60,417人。佐賀県総数は4,536人。これらの人数は年々右肩上がりに増えてきている。そのうえ外国人向けの戸建てやマンションというのは福岡近郊では無いに等しいらしく、ここで私は年々外国人が増えてきている状況に着眼し、外国人をターゲットとした場合について設計していく。



## □対象となる地域物件

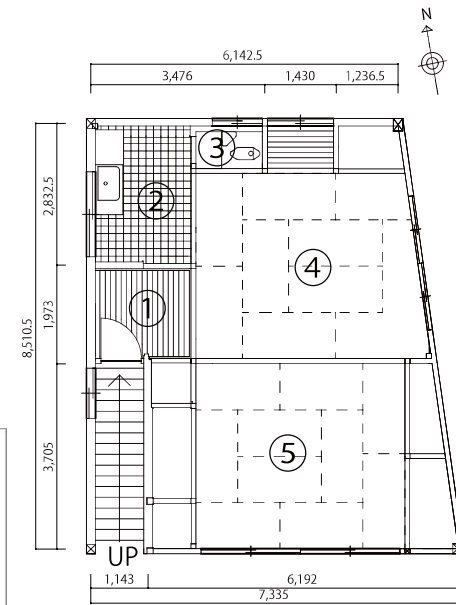
リノベーションの対象となる空き家は基山駅から徒歩5分の位置にある。この空き家は2階建てになっており、1階部分を消防団が使用している。リノベーションの対象は2階部分のみであり、外観や外構は扱わない。この空き家から徒歩5分圏内には商店街やスーパーマーケット、カフェなどがある。さらに歩けば最近建て替えられた図書館があり、他県からの利用者も多く見られている。



外観



内観



①



③



②



④



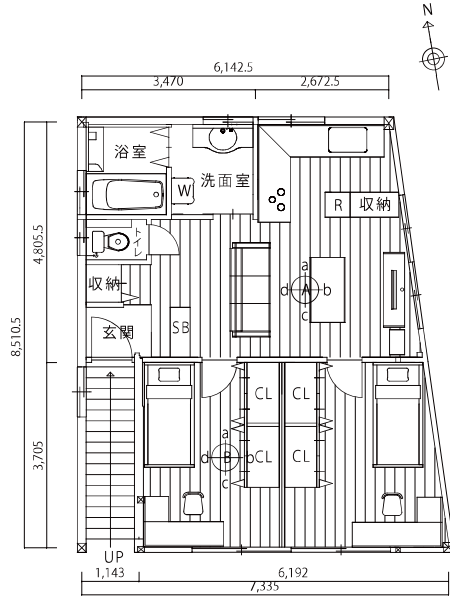
⑤

# キヤマノアキヤ～1軒から始まるまちづくり・まちおこし～

## □提案

主に地域を指定しない全ての外国人を対象とした物件とする。もちろん日本人が活用しても構わない。メインは外国人2名から4名を対象としたゲストハウスのような形の賃貸住宅を設計する。ゲストハウスのような、というのは一般のゲストハウスは数日程度の宿泊だがここでは数週間程度から数ヶ月程度までとするため。日本と海外での賃貸住宅の違いは、日本では居住した後に家具や家電を自分で調達する事になるが、海外の賃貸住宅では家具付きの場合が多く見られるため、ここでは家具付きで貸し出すことにする。ここで地域との交流も深めるために基山町自体と提携したサービスを作りこの宿泊施設を使用する居住者には、基山町での買物や外食を行う場合定価の1割から2割程度、安く購入できるという提案もする。これは居住者が町の商店街やマーケットでお金を落とすことで双方がメリットのある関係を作れる。(基山町には他にも空き家があるため、1軒だけの構成ではない。)

提案後の図面

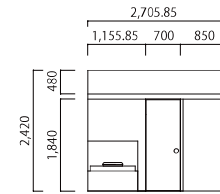


外国人は日本に来てキッチンのお小ささに驚くらしいのでできる限り大きく設計した。

この平面図だと2人で住むことになるが2段ベッドで真ん中の壁を取り払うことで4人で住むこともできる。数週間から数ヶ月を期間とするためプライベートの空間を少し広めに取っている。



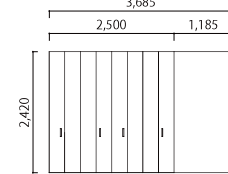
A-a 展開図



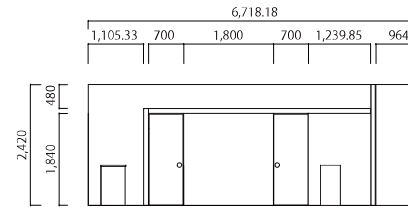
B-a 展開図



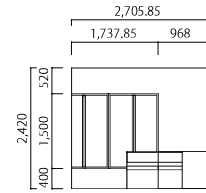
A-b 展開図



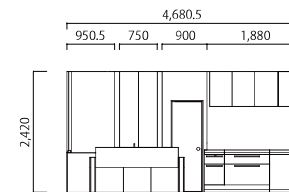
B-b 展開図



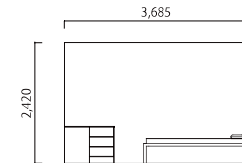
A-c 展開図



B-c 展開図



A-d 展開図



B-d 展開図